



沼津市文化財 センター通信

2022年12月発行



文化財通信
バックナンバー



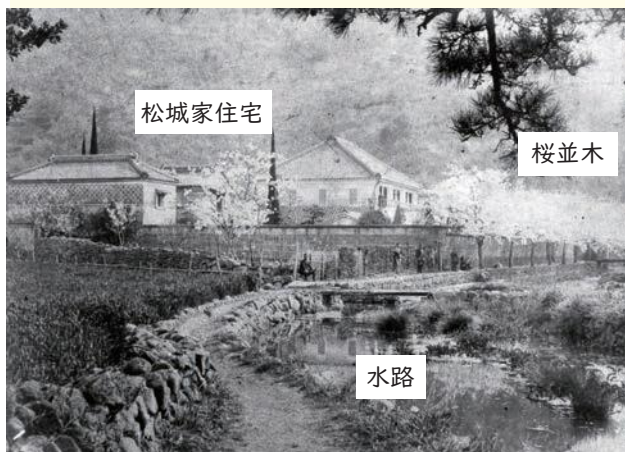
沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



和風？洋風？不思議な見た目の大豪邸^{ごうてい} - 松城家住宅 -



主屋1階は和風、2階は白壁にバルコニーが付く洋風^{しらかべ}



松城家住宅

桜並木

水路

明治時代の松城家住宅

現在は桜並木はなく、家の前まで引かれた水路は埋め立てられています

松城家住宅は沼津市南部の戸田地区に建てられた建物群で、松城家の家族が暮らした家（主屋）のほか、経営していた店として使われた建物、大切な書物や食料品などを保管した倉庫（蔵）、門、塀が残されています。

松城家は江戸時代から廻船業（海の運送業）を主な商売とし、大きな財産を築きました。建物群のメインとなる主屋は、明治5～9年ごろまでの約4年間をかけて建てられ、その広さは1・2階をあわせると学校の教室約10部屋分になります。当時有数の大豪邸であっただけでなく、家の目の前まで水路が引かれ、そのわきには桜を植えるなど、周囲の景観にも気を遣っている様子が120年ほど前の古い写真からわかります。

大工を悩ませた西洋建築^{なや けんちく}

また松城家住宅は大豪邸であること以上に重要な点があります。それは擬洋風建築と呼ばれる建築の特徴です。擬洋風建築の「擬」とは「似せる」「まねる」という意味で、日本の技術を使って西洋建築をまねた和風建築のことを擬洋風建築と呼びます。

松城家住宅を建てた当時の大工たちは、西洋建築を実際に見たことはありませんでした。彼らは江戸時代の終わりごろから日本に入ってきた西洋建築のわずかな情報を手掛かりに、その技法を和風建築に取り込みました。現在では和室と洋室が同じ家の中にあるのは珍しくありませんが、明治時代では特別なことであり、建築には相当な苦労があったと考えられます。

明治時代初めごろの限られた時期に建築された擬洋風建築は全国的にも貴重なため、松城家住宅は国の重要文化財に指定されています。しかし建てられてから約150年が過ぎ、傷みが目立つことから、平成28～令和4年度まで修理工事を行いました。次号ではその詳細を紹介していきます。



重要文化財松城家住宅を見学してみませんか！

11月3日（木・祝）、重要文化財松城家住宅の一般公開にあわせ、講演会とセレモニーを行いました。

講演会

松城家住宅の特徴や魅力、松城家住宅を活かしたまちづくりについて、松城家住宅修理工事の担当者とまちづくりの専門家の先生による講演会を行いました。

修理工事でわかった建物の仕組みやまちづくりのための活用方法など、普段聞くことの少ない貴重な内容に、多くのみなさんが聞き入っていました。



オープニングセレモニー

セレモニーに先立ち、静岡県の無形民俗文化財に指定されている「戸田の漁師踊・漁師唄」を地元保存会のみなさんに披露していただきました。また沼津市長をはじめ、戸田小中一貫学校の児童生徒、松城家親族などのみなさまにより、テープカットが行われ、一般公開となりました。



開館時間

午前9時から午後4時30分まで
（入館は午後4時まで）

休館日

水曜日（水曜日が祝日の場合は翌日）
年末年始（12月31日・1月1日）

入館料

大人（高校生以上） 300円
小人（小中学生） 100円

市内の小中学生は
無料です♪

松城家住宅案内図



松城家住宅の
解説はこちら



案内図



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
（土・日曜日、祝日、年末年始はお休み）
見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

